

# 龍源寺報

正月号

派 臨 濟 宗 ・ 妙 心 寺  
樹 住 職 松 原 信  
樹 佛 母 寺 住 職 松 原 覺  
樹 正 福 寺 住 職 松 原 行  
T E L 3 4 5 1 - 1 8 5 3  
F A X 3 4 5 1 - 6 0 9 4

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

## 新年を迎えて

哲学者である、西田幾太郎は、著書『善の研究』において、自己の心の奥底より湧き起こる、最も深い自己の内面的欲求の声に聴き従うところのみ、この人生をいかに生きるべきかという問題の謎を解く鍵が潜むと考えた。また、反省によって到達することのできない、深き奥底があることをも強調している。

語ることでできない深い思いや、絶望や希望というものは、どんな人にも存在する。私にも存在する。大事なことは、ふだんなんとなく生活をしても、否定することのできない重みをそなえて、それらが、厳然として、現れることである。島崎藤村も「吾胸の底のこゝには言ひがたき「祕密住めり」と歌っているし、西田も「我がこころ 深き底あり 喜びも 憂いの波も とどかじと思う」と歌った。

人間誰もが、心の中に深い奥底を持っている。そして、物事を深く考え、熟慮を繰り返して、事柄の本質を深く味わうことで、新たな視野を切り開いた人が、今までにもたくさんいたと思う。それは、歴史上の人物だけではないと思う。自己の奥深い存在のまったただ中に立ち入って、一

途な思いに突き動かされて「人生をいかに生きるべきか」を思索する態度は、科学技術やITが発展し、全てがインスタントになっている今の時代に大切なことだと思う。

泰道老漢は、いつも言っていた。「読書をし、良く考えること」と。読書をすることで、考える力が養えると主張する。新聞で読む悲惨なニュースに泰道老漢は、いつも嘆いていた。「この事件の原因は、思考力の低下だ」と。

私達は、新年を迎える。幸せに迎える方もいれば、病や訴訟をかかえ、不安に迎える方もいる。私は、不安に思う方に伝えたい。「不安はそんなに長くは続かない。止まない雨は無いのと同じである」と。もし、元気がなかったら一歩でも二歩でも下がってもいい、休んで、ゆっくりしてもいい、でも地に足をつけて、新年を迎えていただきたい。そして、他者には絶対に解り得ない、自分の心の奥底にあるものを、大切にしていたいただきたい。

本年も宜しくお願い申し上げます。

観音堂寄付

金五万円

竹下 靖子殿

金五万円

鎮目 大三殿

経蔵寄付

金五万円

西嶋 秀子殿

金一万円

森本 愛 殿

北軽井沢 日月庵坐禅堂寄付

金百万円

松原 良樹殿

ありがとうございました

\*将来は本堂の裏地を整備して、大般若経を納める  
経蔵を建立する計画をしております。

\*櫻井様・藤井様・武内様からいただいた、東北地方への寄付金は、巡礼で拜塔した各寺院に寄付させていただきます。ありがとうございました。

大般若会(お正月の祈禱法要)

左の通り行ないます。ご家族そろってお参りください。

一、一月四日(土曜日・午前十一時より)

一、読経

一、法話

※駐車場はありません。南北線をご利用ください。

禅の会(定例)

一月四日(第一土曜日)

午後一時半より三時半まで行います。

・坐禅と講話。

・茶礼代一人・二百円。

・参加予約不要です(午前の禅の会は中止)

# 龍源寺の定例会 禅の会・TKC坐禅会・仏像を彫る会

## 禅の会（坐禅体験）

指導…松原信樹

定例日…毎月第一土曜日

（二月は、午後の部のみ開催）

時間（二回）…午前十時～十二時、  
午後一時～三十分

三時三十分

内容…坐禅とお話

会費…来会の時二百円

その他…晩夏又は初秋に北軽井沢・

日月庵でも開催

サラリーマンの方・女性の方・学生・  
会社の社長さん様々です。大体五十  
人～八十人位。

年二回春と秋に行われる軽井沢「作  
務の会」も長年にわたる恒例行事の  
ひとつです。

## TKC坐禅会

指導…松原信樹

定例日…毎月第一土曜日

時間…午前八時～九時

会費…千円

第一土曜日の朝八時から読経、坐禅  
をし、お話があります。

TKCとは税理士さんのグループで、  
皆さん熱心に坐禅をされております。

## 仏像を彫る会

指導…三木童心

定例日…毎月第二土曜日、第四土曜日

時間…午前十時三十分～  
十二時三十分（初心者）、  
午後一時三十分～四時

午後一時三十分～四時

会場…龍源寺花園会館

会費…二千円

# 結婚のご報告

檀信徒の皆様、日頃、お仕事を通してお  
世話になっている皆様、私ごとであります  
が、ご縁があり、十一月二十八日に、結婚致  
しました。

振り返れば、皆様には、どんな時も励ま  
していただきました。私には仏教に関わる  
お仕事でしか、社会のお役にたてません。  
そんな私を理解し、支えていただいた皆様  
に、本当に感謝の気持ちで一杯です。

人生を、共に支え、共に歩んで行く方と  
出会えたご縁に感謝し、これからも、私に  
できる、仏教に関わる様々なお仕事で、よ  
り多くの方々に貢献し、お世話になつてい  
る皆様のご期待に沿えるよう、これまで以  
上に頑張りたいと思います。これからも暖  
かく見守っていただければ嬉しく思います。

龍源寺住職

松原 信樹

宜しくおねがいいたします。

松原 亜矢（旧姓 金子）

〔日本航空（株）客室本部勤務 千葉県出身〕



明けておめでとうござ  
います。旧年中は、寺族一  
同大変お世話になりました。  
本年も宜しくお願い申し上  
げます。▼新年の祈祷会は、

一月四日・午前十一時になります。無  
病息災・家内安全・交通安全を祈願致  
します。転読する経典は、写経会の皆  
様が写経してくださった『大般若経』  
です。六百巻あるうちの百五十巻完成  
しております。数名の僧侶で読経させ  
ていただきます。皆様ご参加ください。  
▼仕事が忙しく、乗り気でもないのに、  
旅行に誘われるケースがあります。こ  
ういうことは、誰にでもあると思いま  
す。その場合、できるだけ、私は受け  
ることにしております。受けたら受け  
たで、その旅行を目標に、仕事をこな  
すようになり、仕事の効率もよくなり、  
旅行に行ったら新しい縁ができたりし  
て、説明はできませんが、結構楽しく、  
充実した時間を過ごすようになりまし  
た。先般も、東北巡礼に行つて参りま  
した。二十名近くの方々にご参加いた

だきました。今後も、巡礼の旅を催し  
たいと思います。皆様のご参加をお待  
ちしております。▼東北寺内龍源寺墓  
地も残りが少なくなりました。ご希望  
の方は、お申し出ください。また、合  
同船という墓地は、墓地の継承者を気  
にしないでよい永代供養塔です。龍  
源寺の規則を守つていただければ、ど  
なたでもこのお墓を使用できます。▼  
お檀家様で、お葬式をだされる場合、  
知っている葬儀社がない方は、泰道和  
尚・哲明和尚の葬儀に使用した葬儀社  
を紹介させていただきます。いざ、ご  
家族が亡くなると、なすべき事がたく  
さんあります。慌ただしいのが現状  
です。私もこの二年間で、祖父・祖  
母・父と三人の葬儀をだしました。仏  
事に慣れている僧侶の私でさえ、非常  
に慌ただしい体験をしました。もし、  
お葬式をだされる場合、僧侶がいな  
いとお葬式ができないゆえに、まず、一  
番はじめに龍源寺にお電話を入れてい  
ただきたいと思えます。龍源寺本堂も  
しくは、花園会館を使用してお葬

式・家族葬・密葬も執り行うことがで  
きます。(本堂・花園会館使用の際は、  
指定業者となります。)又、生前のご  
相談もうけさせていただきます▼日月  
庵坐禅堂も少しずつ手を加えながら研  
修所を維持しています。多くの方々に  
禅の生活を体験していただきたいと思  
つてます。お時間ございましたら御  
来山ください。▼十二月一日に開山忌  
という、龍源寺を開いた住職の法事が  
ありました。一年の最後の行事が終り、  
正月支度に入ります。▼私が結婚し、  
母も一緒にお寺を守つてくれる人がで  
きて嬉しく思っているようです。弟の  
覚樹は、十月一日に佛母寺の安井玉峰  
師がお亡くなりになり、アメリカと日  
本を頻繁に往復しております。もう一  
人の弟である行樹は、横浜の戸塚のお  
寺で活躍中です。弟二人とも、仕事と  
家庭を大切にしております。▼一月四  
日の『大般若会』にて、皆様にお会い  
できることを楽しみにしております。  
良いお年でありますように。